



若い世代とともに、ごみ削減・まちのマナー向上を進めます ～「資源循環サミット」を始動～

本市では、ごみの減量や資源循環の推進、環境美化・マナー向上に向け、さまざまな施策を進めています。令和8年度は、新たな取組として、市内の中学・高校生が主体となって政策課題の解決に取り組む「資源循環サミット」を開始します。

本事業では、若い世代ならではの視点や発想を生かし、現地視察や意見交換を通じて課題を分析し、提言から実践、検証までを行います。行政と若い世代が協働しながら、多様な交流による新たなアイデアを生み出し、ごみ削減や資源循環の推進、環境美化、公共マナーの向上につながる行動変容を広げていきます。

1 事業概要

市内の中学・高校生を対象にメンバーを募集し、資源循環やごみ減量に関する政策課題について、「企画・立案・実践・検証」を行う新たな取組です

対象	市内の中学・高校 代表メンバー 約30名 都立田無高等学校、都立保谷高等学校、都立田無工科高等学校、私立武蔵野大学中学校・高等学校
会場	田無庁舎、エコプラザ西東京 ほか
期間	令和8年5月～(月1回程度)

2 テーマ 「保谷駅周辺における路上喫煙・ごみのポイ捨て防止対策」

令和8年度は、保谷駅周辺における路上喫煙やごみのポイ捨て対策をテーマとし、現地視察や課題分析を行いながら、中学・高校生ならではのアイデアを活用した対策を検討します。ごみの減量や4R(リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル)の推進、公共の場におけるマナー向上につながる取組を企画し、一人ひとりの行動変容を促す実践につなげます。

6月～8月上旬:各校で検討・提案準備、オンライン会議(月1回)

8月:各校によるプレゼンテーション(提案)

3 実施の流れ

9月～12月:提案内容の実践

令和9年1月～2月:検証・改善

令和9年3月:成果共有・次年度展開